

マクロ経済動学の非線形数理 RIMS 共同研究

京都大学数理解析研究所の共同研究事業の一つとして、下記のように研究会を催しますので、ご案内申し上げます。

研究代表者 石山 健一
(成蹊大学・法学部)
副代表者 斉木 吉隆
(北海道大学大学院・理学研究院)

記

日時：2010年9月7日(火) 13:00 –
10日(金) 17:00

場所：京都大学数理解析研究所 110号室
京都市左京区北白川追分町
市バス203系統 京大農学部前下車 徒歩3分

プログラム (2010年9月4日更新)

9月7日(火)

- 13:00 – 14:00 大内雅浩 (中央大学経済学部)
内生的成長循環のケインジアン・モデル
- 14:20 – 15:20 宮崎倫子 (静岡大学工学部)
時間遅れをもつ周期系常微分方程式の基礎理論
- 15:40 – 16:40 胡雲芳 (東北大学大学院国際文化研究科)
Trade Structure and Equilibrium Indeterminacy in a
Two-Country Model

9月8日(水)

- 9:00 – 10:00 小林幹 (京都大学数理解析研究所)
共変リアプノフベクトルを用いたカオス力学系の解析
- 10:20 – 11:20 西澤由輔 (首都大学東京理工学研究科)
Heterodimensional tangencies leading to hyperbolic sets
and wild hyperbolic strange attractors

- 13 : 00 – 14 : 00 後閑洋一（立命館大学経済学部）
経済変動と3つの経済的な歪み
- 14 : 20 – 15 : 20 西垣泰幸（龍谷大学経済学部）
マクロ経済動学と非線形モデルの実証分析
- 15 : 40 – 16 : 40 鎌谷研吾（東京大学大学院数理科学研究科）
マルコフチェーンモンテカルロ法のエルゴード性の解析

9月9日（木）

- 9 : 00 – 10 : 00 吉田博之（日本大学経済学部）
マネタリスト理論の再検討：安定性分析
- 10 : 20 – 11 : 20 松本昭夫（中央大学経済学部）
Delay Differential Neoclassical Growth Model
- 13 : 00 – 14 : 00 長山雅晴（金沢大学理工研究域）
現象の数理モデル
- 14 : 20 – 15 : 20 合原一究（京都大学大学院理学研究科）
アマガエルをモデル生物とした結合振動子系研究

9月10日（金）

- 10 : 00 – 11 : 00 石山健一（成蹊大学法学部）
産業連関表による経済波及効果の推計
- 13 : 00 – 14 : 00 斉木吉隆（北海道大学大学院理学研究院）
カオス力学系の大規模構造変化と不安定周期軌道–蔵本・シバシンスキー系のアトラクタ・マーキング・クライシス–
- 14 : 20 – 15 : 20 平田祥人（東京大学生産技術研究所）
リカレンスプロット：時系列データの視覚化を超えて
- 15 : 40 – 16 : 40 総括的議論

本研究会はカオス、分岐、不安定周期軌道、カオティックサドル、同期、時間遅れダイナミクス、カオス制御、モデリング、統計、リカレンスプロット等をキーワードとして、マクロ経済動学と非線形数理の研究者交流ならびに両分野の発展を促進させる目的で開催されます。本テーマに関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。最新のプログラム、アブストラクト等は、

<http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~ishiyama/rims2010.htm>

をご確認ください。なお、8日研究会終了後に懇親会を予定しております。